

平成 30 年の足あと

校長 畠山 真

「校長先生、幸福と書いてください。」

今、50周年を記念して、全校児童一人ひとりと面談していて、2年生のある女の子が言った言葉です。この言葉を聞いて、最初、えっと思いました。私が驚いたのは、2年生の子が幸福という言葉はどういうつもりで言ったのか、つかみ切れなかったからです。話をしているうち、この子が幸福という言葉を知っていて、いつまでも幸福「しあわせ」でいたいという思いをいただいているのだなと思いました。家庭でも、おそらく幸福について話し合っているのかなとも思いました。私もこの言葉について考えてみました。自分にとって幸福とは何だろう、美小の子どもたちは幸福でいるのだろうか、様々考えました。宮沢賢治が、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」と言っていますが、幸福という言葉のもつ意味をもう一度考えてみたいと思います。他の児童も自分の名前とか、友情とか書いてほしいと言い、面談をしていて子どもたち一人ひとりの想像力や考えていることはすごいと思います。一人ひとりが、幸福になるように私も心を込めて一生懸命字を書いていこうと思います。

さて、師走を迎え、平成30年(2018年)もいよいよ終わりに近づいてきました。この一年を振り返ってみると、学校での様々なことが思い出されます。1月は、書き初めがあり、学年ごとに実施し子どもたちは大きく堂々と書いていました。私も「空」という字を書きました。2月には1年生が幼稚園・保育園の園児たちを招待して、熱心に校舎を案内していました。3月には卒業式があり、6年生が立派に卒業していきました。4月は、入学式と始業式があり、67名の1年生が入学し、全校児童409名で平成30年度がスタートしました。5月は、運動会があり、50周年を記念しての運動会で、PTA競技で教職員と父母の方々が一緒にリレーをしてとても盛り上がりました。6月は、9日に子ども集会と創立記念式・祝賀会があり、200名近くの来賓の方がお見えになり、盛大に行われました。7月には、水泳学習があり、区水泳大会が新石川小で行われ、美小の子どもたちはよくがんばって泳ぎ、応援も立派でした。8月終わりから2学期に入り、9月には4・5・6年生が宿泊学習に行き、どの学年も子どもたちが生き生きと活動に取り組んでいました。10月には、全校遠足があり、6年生がリーダーとして下学年の人たちをしっかりとまとめ、電車の中もとても静かでした。11月には、スマイルコンサートがあり、どの学年も立派な発表ができました。区音楽会では3年生が青葉公会堂で堂々と発表し、6年生は三ツ沢競技場でひたむきな演技と競技を見せてくれました。そして、12月は校内作品展と5年生の球技交流会があります。きっと全力を尽くした作品とプレーを見せてくれることでしょう。

平成30年がまもなく幕を閉じます。今年一年を振り返ってみると、社会的にも様々な出来事がありました。皆様方には大変お世話になりました。平成最後の来るべき年が、皆様にとって幸福な一年になることを祈念しております。